

ひだまり

男女共同参画川柳

五・七・五に思いを込めて

誰もが性別に縛られず、一人ひとりの個性と能力が発揮できて、自分らしく生きていける「男女共同参画社会」。家庭や学校、職場、地域など、日々の暮らしの中で、体験した、感じた、考えた男女共同参画に関する気づきや疑問などを、川柳で表現していただきました。

第3回入賞作品

応募期間 令和5年9月1日から11月30日まで
応募総数 20作品（敬称略 入賞者は順不同）



大賞



違うから 想像しよう 認め合おう

さんじのおやつはドーナツ（ペンネーム）

自分と違うと、理解できないこともある。でも違うからこそ、それぞれの立場を想像し、お互いを尊重する関係が築けるのではないかと思う。



入賞



出来ること みんなで考え 第一歩

ジャックおじさん（ペンネーム）

人によって得意不得意があるので、まずは出来ること、やれそうな事から始めようという事を表現してます。



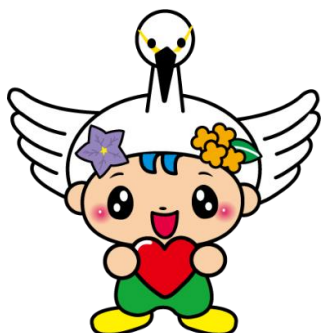
ジェンダレス 唱える役所が 欄設け

慣例主義（ペンネーム）



昼間のパパは マスクはずして 照れワーク

今日シロー（ペンネーム）



いただいた応募作品は、今後男女共同参画の推進・啓発活動に活用させていただきます。

男女共同参画推進講演会を開催しました みんなでつくる、みんなの防災 ～みんなにやさしい災害対策～

昨年9月28日(木)、防災士でタレントの時東あみさんを講師に迎え、講演会を開催しました。

時東あみさんから「小さな子どもを抱えての防災」と題してご講演いただいた後、町長、町危機管理専門員とトークセッションを行いました。

「防災」とは

お子さんに伝えるような言い方と言うと、地震イコール「おばけ」と思ってください。

おばけが出てくることを最初から知ってて、出てきた時に泣かないようにしたり、強くなること。

地震と同じように、おばけが最初から出てくることになってるかなんて、まったくわからないですよ。ただ、出てきたときに、泣かないようにしたり、強くなるために準備をしておくということが「防災」。



非常持ち出し袋に入れて

懐中電灯よりヘッドライト、コンタクトレンズより眼鏡、歯磨き粉より液体歯磨き、クレジットカードではなく現金。

子どもがいる人はおもちゃとお菓子も。

はぐれたときのためにペットの写真や家族の写真。



避難所はペットがいる方、体が不自由な方、小さなお子さん、いろんな人が集まります。男女だけでなく、配慮すべきことがたくさん。どうやったらクリアできるか。一番の近道は「家を安全にして家で避難生活を送ること！」

家を安全にしておこう

家の防災対策

家具の転倒防止、扉にはストッパー、重いものは上に置かない。1981年以前に建てられた家は耐震診断をしましょう。

中井町木造住宅耐震診断・改修工事補助
町ホームページID605



多めに買うだけで防災に

ちょっと多めに買って、食べて、また足すローリングストック法。これだけで備蓄できます。

家族で防災について話そう

災害用伝言ダイヤル171に登録する共通の電話番号を決めよう。避難場所を確認してみんなで歩いてみてください。

トークセッション

時東あみさんと、戸村町長、町危機管理専門員佐藤が、FM湘南マジックウェイブDJみわっちさんをファシリテーターに迎え、トークセッションを行いました。

時東あみさん「女性ならではの生理用品などは、自分で準備する自助だと私は思っています。普段から持ち歩いたり、自分で用意すべきだと思います。」

戸村町長「避難所の工夫がさらに必要と思っているので、皆さんと考えていきます。防災モニターのお声をちょうだいし、取り組んでいきます。」

危機管理専門員「キャンプで電気を使わない練習ができます。自宅でも時間を決めて、電気を使わない避難生活を体験してみてください。」



あなたにとっての「防災」は

ご参加いただいた皆さんに聞きました。

生きるために備えること

生活を守ること、特に子どもの安心安全を考えていきたい

不幸を不幸にしない準備

家族や大切な人を守る術

備蓄、家の中のチェック、安全確保

近所での声かけが防災につながっていきます

備え一番ですが使わなくてすんでほしい

生きのびること

自分を守る行動

自助、共助

予想すること

知っておくこと

大切な命を守るもの



不安から自分すら守れなくなることなくすために普段から考えるクセをつけること

何かあった時にあわてず行動するための家族間での共通認識

地域の皆さんが協力して立ち向かい過ごせるようにする

町審議会・委員会などの 女性委員の登用状況

R5.4.1現在

右の図は、中井町の審議会・委員会などの女性委員の登用状況です。

「参画」とは、単に「参加」するわけではなく、計画・意思決定への参加ということです。町では各委員に女性の積極的登用を図りたいと考えています。

人口の半分は女性です。あらゆる分野に女性も参画していき、一緒に担うことが男女共同参画への一歩です。

中井町では女性自治会長がまだいませんが、神奈川県内では全自治会長の1割は女性の会長です。

身近な自治会にも、女性や若い人が参画し、性別や年齢に関わらず多様な意見を出し合い、豊かで活力ある地域を共に作っていきましょう。



項目(順不同)	総数	うち女性数	女性比率
自治会長	27名	0名	0%
防災会議	16名	1名	6%
民生委員推せん会	7名	2名	29%
国民健康保険運営協議会	6名	1名	17%
環境審議会	12名	1名	8%
青少年問題協議会	18名	3名	17%
公民館運営審議会	8名	6名	75%
社会教育委員会議	14名	5名	36%
文化財保護委員会	6名	0名	0%
都市計画審議会	9名	0名	0%
国民保護協議会	15名	1名	7%
総合計画審議会	16名	2名	13%
表彰審査委員会	5名	1名	20%
介護保険運営協議会	10名	3名	30%
子ども・子育て会議	14名	11名	79%
教育委員会	4名	1名	25%
選挙管理委員会	4名	1名	25%
農業委員会	7名	0名	0%
議会議員	12名	2名	17%

「ひだまり」へのご意見感想をお寄せください

編集/中井町男女共同参画推進懇話会 発行/事務局 中井町地域防災課

〒259-0197 神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56
TEL:0465-81-1110 FAX:0465-81-1443
E-Mail:chiiki@town.nakai.kanagawa.jp

メールはこちらから→

